

日々の田高（生徒会主催交流大会）

令和８年３月１９日に、生徒会主催交流大会が行われました。昨年は行われなかった生徒会主催の交流会を復活させたいという生徒会執行部の強い思いにより、実現されました。開催意義として、①「運動が得意な人も不得意な人も心から楽しめる機会を作るため」、②「１年生と２年生の交流の場を作るため」、としました。

一昨年までは生徒会主催の大会は、球技大会でした。しかし、今回の大会では運動が苦手な生徒も積極的に参加して欲しいという思いから、競技は２種目とし、校庭では王様ドッチボール、柔道場では神経衰弱が行われました。さらに、神経衰弱では、通常のトランプだけではなく、大型サイズのトランプを生徒会執行部が作成し、柔道場の大きな空間を生かした競技を行いました。

当初は、王様ドッチボールについては各クラス男女それぞれ最低６名、神経衰弱については各クラス最低３名の参加を募っていました。しかし、午前授業の放課後の時間では、友人同士で遊びに行く生徒や部活動に参加する生徒など多数おり、目標人数を上回ることができませんでした。そのため、試合回数や試合時間などの調節を行い、再度ルールを周知し、大会の開催を行いました。

大会の準備では、大会要項の作成、各種委員会の招集、学校物品の借用や、校庭でのドッチボールコートライン引き、巨大トランプ作成など約１か月を通して少しずつ準備してきました。

大会当日は、開会式から閉会式、審判や試合の進行を生徒会執行部が担い、１年生と２年生が楽しく交流する機会となりました。交流大会は、部活動や委員会関係なく、１年生・２年生合同でグループ編成されたため、お互い初めましての生徒もいた。しかし、「何部なの?」、「名前は?」など、２年生から１年生に話しかけることで、休憩時間や作戦時間などに交流が深まっていました。今回の経験を通して、学年・クラス問わず交流でき、話し合える機会が増えることを期待しています。また、生徒会執行部内で互いに役割を持ち、それぞれ協力して取り組んだことで、無事交流大会が実現でき、これからも挑戦し続けるきっかけになれば嬉しいです。



